

図書館情報

●お問い合わせ 本館 73-1616
清和 82-3033
蘇陽 73-2755

「11月のおすすめ図書」

「アリアドネの弾丸」

海堂 尊 (かいどう たける) 宝島社 分類913

現職の医師が執筆し、ドラマや映画化され大きな話題を呼んだ医療推理小説シリーズ最新作。一発の銃声が響き渡る時、平穏な病院が殺人事件の舞台と変わる。タイムリミットは72時間。医師田口と厚生労働省の白鳥は完璧に仕組まれたトリックを暴くことができるのか？



「わたくしが旅から学んだこと」

兼高 かおる (かねたか かおる) 小学館 分類290



「兼高かおる世界の旅」と言うテレビ番組を覚えていらっしゃいますか？ 兼高かおるさんが世界各地を颯爽と旅し、レポートされる姿は大きな反響を呼びました。番組は1959年(昭和34年)から1990年(平成2年)まで31年間続き、兼高さんの移動距離は地球180周分にも及びました。「人生三分割一学んで、尽くして、あとは自由に」。そう語る兼高さんの、旅を通じて見た世界と日本とは。そして82歳の今伝えたい事とは。

「体幹ウォーキング」

金 哲彦 (きん てつひこ) 講談社 分類782

残暑厳しい季節が過ぎ、体を動かすのに最適な季節を迎えました。走るの苦手でも、家の近所を歩いて体を動かそう！と、思われている方も多いと思います。運動前のストレッチや、正しいウォーキングをこの本で学んで、無理なく続けていきましょう！



「野菜のお菓子のレシピブック」

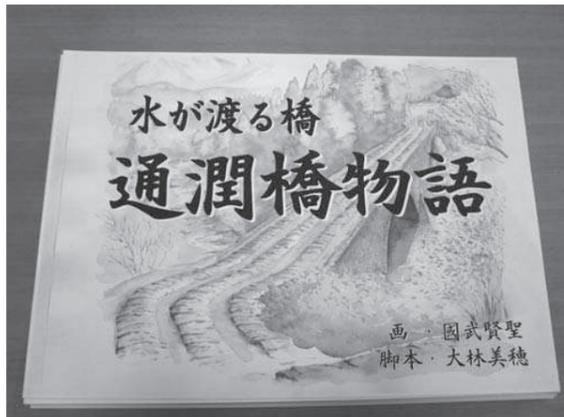
渡部 和泉 (わたなべ いずみ) 主婦と生活社 分類596

いつも見慣れた野菜で、美味しいお菓子を作ってみませんか？ 本格的なお菓子から、混ぜて焼くだけ簡単なお菓子までレシピも豊富です。れんこんといちじくのタルト・ほうれんそうのごまカステラ・ごぼうの黒糖ケーキ・長いものもちもちコーヒークッキー……などなど。



特集 完成！ 『水が渡る橋 通潤橋物語』 ～通潤橋の歴史を伝える紙芝居～

山都町の子どもたちに郷土の誇れる歴史を伝えるため、多くの方にご協力頂きすばらしい紙芝居が完成しました。図書館に所蔵するとともに、町内のすべての小学校へ配布予定です。また、製作にあたり「関西支部会」のみなさまから寄付金を賜りました。この場をお借りして御礼いたします。



『水が渡る橋 通潤橋物語』
原作：郷土劇 南手新井手記録
画：國武 賢聖 脚本：大林 美穂
監修：前田 和興 尾上 一哉 田上 彰
製作：山都町教育委員会 山都町立図書館

紙芝居の完成によせて

山都町立図書館 館長 下田 美鈴
ふるさとを愛する心、ふるさとを誇りに思う心を育てるために、ふるさとの歴史を知ることとはとても大切なことだと思います。自分の生命は歴史の上に生かされ、また次の世代へ伝えていかなければいけないことも気づきます。

この町には、誇れる歴史がたくさんあります。その中で今回は、国指定重要文化財で町のシンボルにもなっています通潤橋のことを紙芝居にしました。郷土史研究家、石橋研究家の協力を得て、史実に基づいた紙芝居が完成しました。

一人でも多くの方の目に触れ、ふるさとを見直し、ふるさとを愛しふるさとを誇りに思う心が育つことを願っています。



山都町立図書館に「いしばし文庫」を開設しました。
石橋に関する書籍・資料を数多く揃えました。
図書館本館の一角に、「いしばし文庫」を開設しました。なかなかお目にかかれない、石橋に関する書籍や資料を数多く揃えています。入手する事が困難な書籍・資料などが、気軽に利用できるようになりました。



この「いしばし文庫」開設のきっかけは、今年4月に山都町にて開催された『日本の石橋を守る会』でした。そこに参加した下田図書館長が、他の参加者に向けて石橋に関する資料の提供をお願いしたところ、多くの賛同を得て、たくさんの方の資料を提供いただきました。
その中に、多くの寄贈を頂いた大阪人間科学大学教授 片寄俊秀(かたよせ ひでよし)氏がいっぱいあります。
片寄氏は、「日本の石橋を守る会」の初代副会長、第2代会長と事務局長を歴任され、まさに石橋研究の第一人者です。
「下田館長から「石橋関係資料を日本一の規模で集めたい」とのお考えを聞き、その情熱に待っていましたと飛びついたらもう本格的な石橋研究はやらないうらうし、膨大な資料をこのあとどうしようかと悩んでいた。ぜひ参加させてください、手持ちの資料は全部お送りします。」と申し出ていただきました。
片寄氏が今まで集めた膨大な、しかもかなり貴重な資料の数々。フランスやドイツ、ポルトガル、イギリスそして中国の歴史的な

石橋についての分厚い本も。さらに「石橋を守る会」の創始者で石橋研究家の山口祐造氏の著書のほとんど全部あります。山口氏の最初の著書である「九州の石橋をたずねて」全三巻の表紙のデザインは片寄氏によるものだそうです。
このように、石橋の研究の第一人者である片寄氏から全資料の提供を受けるなど、いしばし文庫は充実した書籍・資料を所蔵することになりました。これらはおそらく「日本一」と胸を張っています。
○所蔵書籍
「九州の石橋をたずねて 前編・中編・後編」山口 祐造 著(昭和堂印刷)
「石橋物語 上・中・下」山口 祐造著(土木施工管理技術研究会)
「石積の秘法とその解説」大久保 森造・大久保 森一著(理工図書株式会社)

「写真集 眼鏡橋」神 見弘 著(葦書房) など
閲覧については図書館本館までお問い合わせ下さい。(一部の資料は、貸し出しやコピーはできませんのでご了承ください。)

